

きいちゃんの いきいき支え合い通信

この通信では、地域の「顔が見える」関係の中で、日常生活の困りごとを助け合い、支え合う活動が進むことを願い、生活支援に関する県内の先進事例等を発信していきます。



第4号

令和3年10月
和歌山県
長寿社会課

ココがすごい！

支え合い事例紹介 新宮市「チームくまのがわ」

新宮市の熊野川地区では「チームくまのがわ」を立ち上げ、「いつまでも自分たちのまちで元気に楽しく過ごす」ためにはどうすればよいのかを皆で考え、様々な取組をされています。

今回は、チームくまのがわの下阪さんと木村さんにお話をお伺いし、定例会にもお邪魔させていただきました。



下阪さん

木村さん

立ち上げた経緯は？

社会福祉協議会が実施しているふれあい交流事業などで集まっていたメンバーが中心となり、「これからの熊野川のことを一緒に考えよう」との思いを共有する方々が集まり、平成30年8月に発足しました。みんな平等に積極的に発言できるよう、会長などの役職を決めずに活動されています！



チームくまのがわのみなさま

チームくまのがわの取組内容は？

チームくまのがわでは、サロンの運営、子ども達との交流会、グラウンドゴルフ大会など、チームのみんなで地域に必要なことは何かを考えながら、様々な活動をされています。また、第2層協議体として、メンバーがそれぞれの地域のことを情報収集し、毎月の定例会等で共有しています。

メンバーそれぞれが地域で支え合い活動！

熊野川地区では、近所の声かけや挨拶、通院や買い物の支援など、すでに地域での支え合いが自然な形でできている状態とのことです。地域で困りごと（通院や買い物など）が出てきた際は、チームくまのがわのメンバーがその情報をキャッチし、それぞれの地域で助け合いの中心となり解決にあたります！

毎月定例会を実施！

チームくまのがわでは、毎月1回の定例会を実施しています。定例会では、地域の現状や課題を自分の事と考え、みんなで共有し支え合うことを実現すべく話し合いが行われています。

詳しくは次ページ

定例会は「冗談で話をする^{こと}で本音が言える、腹を割って話ができる、仲良くなれる」ことを大事にし、堅苦しくないように心がけているとのことです！

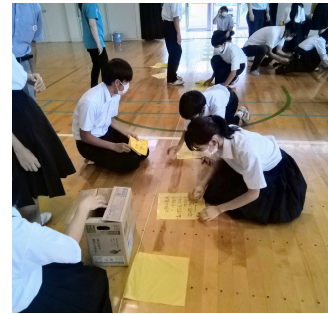
復興イベント！「熊野川は元気で～す！」

紀伊半島大水害から10年経った節目である今年、救援や復興支援してくださった方々に感謝を伝える催しとして、「黄色いハンカチの展示」が実施されました！また、コロナ禍で延期となってしまいましたが、防災講演などの復興記念イベントも企画されていました。



黄色いハンカチの展示

「熊野川は元気です！」を伝えるため、メッセージを書いた黄色いハンカチをさつき公園に掲示！事前にハンカチを住民に配布してメッセージを書いてもらったものと、福祉施設や学校などで寄せ書きをしたものなど、約200枚が集まりました！掲示にあたっては、チームくまのがわと生徒、社協などで協力して楽しく取り付け作業を行ったとのことです！



県からのお知らせ

- 今年度から「生活支援専門アドバイザー派遣事業」を実施しています！是非ご活用をお願いします。
- 皆様の取り組みを紹介させていただきます！県職員が取材に伺いますので下記までご連絡をお願いします。

連絡先：和歌山県長寿社会課 電話：073-441-2521



とっても楽しい！「チームくまのがわ」の定例会

毎月実施している「チームくまのがわ」の定例会。今回参加させていただき感じたことは、皆がどんなことでも積極的に発言できる会議で、冗談の飛び交うとても楽しい雰囲気づくりをされていることでした！



定例会で話し合う内容

定例会では、その1か月で行った様々な取組の報告や、地域の課題や困りごとの共有、今後の取組内容について話し合いが行われています。今回の会議では、黄色いハンカチなどの取組についてメンバーからの報告と感想があり、その後、今後の活動についての話し合いが行われました！



お揃いTシャツとバッジでチームカUP！

定例会では、みなさんお揃いのTシャツとバッジを着用していました！バッジのイラストは社協の裏中さんが担当。「一歩前に踏み出す勇気を持って皆で支え合う」という皆の想いを表現して、ハートから一歩踏み出したイラストとなっています！



今後の活動について

チームくまのがわではメンバーを下記の3つのチームに分けることとしています。（活動内容は事務局案を記載。）今回の定例会では防災チームのメンバーが発表されました。今後は、全体会議での話し合いと併せて各チームでの活動を行っていくとのことです！

地域チーム

- ・移動スーパーがない地域の買い物支援
- ・草刈り支援
- ・世代間交流
- ・地域全体を考える 等

福祉チーム

- ・サロン活動の継続支援
- ・福祉サービスの手続き支援
- ・福祉研修会の開催 等

防災チーム

- ・地域の防災意識向上に関すること
- ・防災研修会の実施
- ・復興記念イベント開催等



令和3年度は「防災チーム」が主役

まずはチームくまのがわ全体で「防災」について話し合い、色々出てきた意見や課題を防災チームのメンバーで整理。整理した内容をチームで承認してもらい、今後の取組目標として活動していきます。コロナ禍で実施できなかった復興記念イベント等を今後実施していきたいとのことです！

「チームくまのがわの心得」

定例会の最初に生活支援コーディネーターの大江さん（新宮市社協）から「チームくまのがわの心得」について説明がありました。毎月忘れずに確認しているそうです！

- ・月1回集まる
- ・ひとりで悩まずチームに相談
- ・みんなで楽しく！
- ・自分に課題をつくる
- ・自分にやさしく、みんなにやさしく



「チームくまのがわの心得」のフリップ

雰囲気づくりは生活支援コーディネーター

定例会（第2層協議体会議）は、終始和やかで冗談の飛び交うとても楽しい会議でした！司会進行や説明を担当している生活支援コーディネーターを中心に、地域の方々も協力して自然とその雰囲気づくりがされているように感じました。「自分たちの活動が楽しいからこそ継続できる」というのが秘訣だそうです！



大江さん(SC) 福島さん(SC) 裏中さん